

ほ ど 教育センター通信

火床の火の心を紡ぐ

第10号（通算60号）
平成31年2月22日
三条市小中一貫教育推進課
教育センター 発行



三条学園（裏館小）
節分鬼踊り集会
2月1日（金）

レジリエンスの強いタフな子どもに

小中一貫教育推進課 指導主事 遠藤 知子

失敗することを恐れる、叱られると「どうせぼくなんか・・・」と、がっかりしてなかなか立ち直れない子どもたちを相手に「どうしたら立ち直って乗り越えてくれるだろう」と悩む先生方が少なくないのではないのでしょうか。

「レジリエンス」は、ストレスフルな状況やネガティブな出来事を体験しても、そこからの立ち直りを導く心理的な特性です。阪神淡路大震災、東日本大震災あたりから災害に対して心の立ち直りの方法の一つとして使われるようになりましたが、現在では日常生活においても取り上げられるようになってきました。

レジリエンスがある人には3つの心理的な特徴が見られると言われています。この3要素を育てることがレジリエンスを育てることにつながります。

- 1 感情調整 ・ ・ 自分の気持ちがある程度コントロールできる。感情に振り回され、不本意な行動をとってしまうことが少ない。
- 2 新奇性追求 ・ ・ 新しいことを求める気持ち。知っていることだけでなく、未知のことに興味や関心をもち、チャレンジしたい気持ちをもてる。
- 3 肯定的な未来志向 ・ ・ これから先にいろいろあるかもしれないが、基本的に明るく楽しく過ごせると思っている。将来に対して肯定的でそのために努力できる。

（出典 徳島県津田小学校「つだっこ特別支援教育だより」2017年より）

子どものレジリエンスを育てるためのポイントは、安定した規則正しい生活をする事、そして日々の生活の中で良い体験を継続的に積み重ねることと言われています。

長い人生、いろいろなことがあります。どんなことが起きても折れずにしなやかに生きていける、そんなタフな子どもたちに育ってほしいですね。

学園の取組紹介

瑞穂学園 第3回3校全体研修会 (1/28)

小小連携、知育・徳育・体育部会、それぞれの今年度の取組と来年度の方向性について、3校の先生方が熱心に話し合っていました。子どもの成長が具現されたかという視点で、建設的な話し合いが行われていました。瑞穂学園では来年度に向けて「乗り入れ授業」を充実させる計画を立てています。小中の先生方が授業を通してつながり合うことで子どもの学習意欲を高めます。今後の小中一貫教育の洗練・進化につながる研修会でした。



一ノ木戸ポプラ学園 放課後学習教室 (2/5、6)

一ノ木戸ポプラ学園の新たな取組「放課後学習教室」は、定期テスト前に中学生の参加希望者が集まり、小中の先生方が学習支援をする活動です。子どもたちの学びへの意欲を支えようと、一ノ木戸ポプラ学園の先生方が考えた活動です。

今回は4回目の開催となりました。中学生たちは熱心に先生方に質問をし、先生方も子どもに寄り添いながら丁寧に指導をしていました。



大崎学園 交流授業、連携授業の取組 (2/6、7)

8年生の国語科「調べて考えたことを伝えよう」の授業で、修学旅行で訪れる京都、大阪、奈良のことを2年生に伝える交流学习を行いました。8年生の生徒たちは、調べたことが2年生に伝わるように、写真やクイズなど伝え方を工夫しながら分かりやすく説明をしていました。

2年生の聞く力と8年生への憧れ意識、8年生の伝える力と自己有用感を醸成する交流学习でした。

大崎学園では、先生方による「連携授業」(乗り入れ授業)も行われています。右下の写真は11月に行われた4年生理科の授業に後期課程の先生が連携・協力した授業です。こうした授業を通して義務教育学校の授業文化が形成されています。



★★

数学学力向上プロジェクト (1/31、2/13)

三条市で取り組んでいる「数学学力向上プロジェクト」の2年目の全日程が終了しました。1月31日は第一中学校で4人の先生方が授業をされ、県立教育センター細山昌嗣特任指導主事の個別指導を受けました。

第一中学校で目を見張ったのが日常的なデジタル機器の積極的な活用です。今回の訪問でも多くの先生が効果的にデジタル機器を活用して授業を展開していました。標本調査で資料からのランダムな抽出を、デジタル教科書を使って行い(写真上)、空間図形のイメージ化では書画カメラを巧みに使っていました(写真中央)。

また2月13日には第三中学校で湯沢中学校から佐藤典人教頭先生をお迎えし、『授業力向上講座』を行いました(写真下)。

公開授業は「確率」について日常生活の中から考えていく内容でした。授業後の講座では、普段から佐藤教頭先生が考えている「何のためにノートを取るのか」、「数学が嫌い、苦手」の壁を切り崩すことについてお話をいただきました。やはり授業中の生徒とのやりとりの中でいろいろな「引き出し」を用意しておくことが大事だということです。



勇志塾

2/15 (金) ~16 (土)

教育委員会が主催している勇志塾は、次年度の中学校生徒会リーダーを対象とした1泊2日の研修です。今回で7回目を迎えました。例年同様に、各校4名、総勢36名の参加者は、研修を通して次年度の学校を牽引するための知識を身に付け、前向きな気持ちをさらに高めることができました。力強いリーダー意識と仲間意識をもち共に良い学校を築いていこうとする中学生たち、その姿に憧れる小学生たち。学園の子どもたちが成長するための本取組をこれからも続けていきます。



講座① 市長の基調講演
「三条市の未来を拓く君たちへ」



講座② フォーラムディスカッション
中澤弁護士と一緒に「生き方」を語る



講座③-1 心のメンテナンス



講座③-2 体のメンテナンス



講座⑤ 講話



講座④ 各グループ 成果発表



講師の方と記念撮影 (第1日目)

<勇志塾の講師の方々>

國定 勇人 様	三条市長	講座①
中澤泰二郎 様	新潟県弁護士会	講座②
水科江利子 様	セルフアドバンス協会 代表理事	講座③-1
高野 聖 様	NSCA 認定パーソナルトレーナー	講座③-2
秋元 幸平 様	株式会社 青芳 取締役専務	講座④-1
能勢 直征 様	永塚製作所 社長	講座④-2
内山 徳寿 様	内山農園代表	講座④-3
ション・ワン 様	三条市国際交流員	講座④-4
郷 秀人 様	済生会三条病院 院長	講座⑤

